

事業評価書

補助事業名	小牧基地関連公共用施設市道北外山小木線交通安全施設整備事業						
補助事業者名	小牧市長						
実施場所	小牧市小針一丁目地内外						
補助事業の成果の目標	<p>本路線は約39年前に整備され、周辺には住宅や工場があり道路利用者が多い道路である。しかし自動車交通量が多く、大型車の従来が激しいにもかかわらず、路肩が狭く、歩道整備がされていないため歩行者の安全が確保されていません。</p> <p>そのため歩道整備をすることにより地域住民の安全性と利便性の向上を図る。</p>						
補助事業の内容	交通安全施設整備 L=304.2m						
補助事業の始期及び終期	平成30年度						
事業費及び交付金額		30年度	31年度 予定	32年度 予定	33年度 予定	34年度 予定	計
	事業費	円 (46,070,640) 45,042,480	円	円	円	円	円 (46,070,640) 45,042,480
	交付金額	円 20,000,000	円	円	円	円	円 20,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>歩道を整備したことで車道と歩道が分離され、歩行者の安全性が確保されたことにより、道路の利便性が向上した。地域住民からも「安全に通行できるようになった」、「安心して子供を歩かせられるようになった」、「利用しやすくなり、利便性が向上した」などの意見が寄せられた。また、整備後に行なった住民へのアンケート調査においても同様の評価を得られた。</p> <p>周知については、地元区長への説明及び区内へ工事案内文書を回覧。また、工事関係者以外の市民や区民に周知するため現場工事看板と回覧文書に防衛省の交付金充当事業であることを記載し、広く地域住民に対し周知した。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	今後とも地域住民の理解を得ながら事業を実施						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分類及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。